



2020年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月10日

上場会社名 丸八倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9313 URL <http://www.maru8.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 峯島 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 兼 情報システム部長 (氏名) 宮沢 浩元

TEL 03-5620-0809

四半期報告書提出予定日 2020年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	2,442	3.9	394	7.8	381	5.2	253	4.0
2019年11月期第2四半期	2,540	6.0	366	55.6	362	88.8	243	93.1

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 166百万円 (27.2%) 2019年11月期第2四半期 130百万円 (110.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	42.49	
2019年11月期第2四半期	41.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	16,269	9,642	59.1
2019年11月期	16,005	9,572	59.7

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 9,618百万円 2019年11月期 9,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期		0.00		16.00	16.00
2020年11月期		0.00			
2020年11月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	4.7	700	0.2	650	1.2	420	4.0	70.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年11月期2Q	7,300,000 株	2019年11月期	7,300,000 株
2020年11月期2Q	1,340,764 株	2019年11月期	1,340,764 株
2020年11月期2Q	5,959,236 株	2019年11月期2Q	5,833,239 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想に修正が生じた場合は、速やかに開示いたします。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により企業収益や個人消費等をはじめとして経済活動は全般的に急速な悪化傾向が続いており、極めて厳しい状況で推移しました。金融資本市場の変動等の影響にも注視を要する状況が続いているほか、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響等により今後とも内外経済の動向は不透明感が拭えない状況にあります。

このような経済情勢にあつて、物流業界におきましては、入庫金額・保管残高金額ともに前年を下回る水準にて推移し、人手不足等に伴うコスト上昇や競争の激化等もあり、厳しい状況が続いております。また、不動産賃貸業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、賃料水準や需給関係の動向等に不透明感が広がりつつあります。

このような状況の下、当社グループは、内外の環境変化に的確に対応しながら、さらなる成長を果たしていくために新中期経営計画（2019－2023）の具体的各施策を展開してまいりました。物流事業における具体的施策として、2016年に竣工した千葉県八街市の新規倉庫の稼働率が順調に向上しつつあるほか、既存倉庫の稼働率についても安定的かつ高い水準にて推移しており、保管料収入等の増加に努めてまいりました。また、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めてまいりました。このほか、埼玉県所沢市と千葉県八街市にて新規倉庫建設の計画を進めており、将来の収益増強に向けた施策も展開しております。不動産事業における具体的施策としては、賃貸マンションや賃貸オフィスビル等が安定的に稼働しており、安定的な収益が確保されております。

この結果、売上高は保管料収入が増加したものの、取扱い貨物の入出庫量の減少に伴い荷役料収入や運送料収入等が減少し、前期比97百万円（3.9%）減の2,442百万円となりました。また、営業利益は各種経費の削減効果により前期比28百万円（7.8%）増の394百万円となり、経常利益は支払利息等が増加したものの前期比18百万円（5.2%）増の381百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比9百万円（4.0%）増の253百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

物流事業

物流事業では、保管料収入等が増加したものの荷役料収入や運送料収入等が減少したことにより、売上高は前期比96百万円減の2,133百万円となり、セグメント利益は各種経費の削減により前期比20百万円増の456百万円となりました。

不動産事業

不動産事業では、賃貸稼働状況は概ね前期並みの水準にて推移し、売上高は前期比1百万円減の309百万円となり、セグメント利益は前期比5百万円減の147百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、埼玉県所沢市と千葉県八街市の新規倉庫用地取得に伴い有形固定資産が増加となり、前期末比264百万円増加の16,269百万円となりました。負債は、新規倉庫建設資金に関する長期借入金の増加により前期末比193百万円増加の6,627百万円となり、純資産は前期末比70百万円増加の9,642百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は59.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大等に伴う内外経済の下振れリスクの影響を勘案し、2020年7月10日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。修正の内容としましては、国内貨物の荷動きの鈍化に伴い荷役料収入や運送料収入の減少が見込まれるため、売上高を当初計画比300百万円減の4,800百万円に修正いたしました。なお、主たる収入源である保管料収入、貸倉庫料収入および不動産賃貸料収入は今後とも堅調に推移する見込みであり、また、各種経費の削減にも取り組むことにより、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益につきましては当初計画を達成する見通しとしております。

今後、業績予想を修正する必要がある場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,305,950	1,254,489
受取手形及び営業未収入金	344,250	313,204
その他	159,569	159,125
流動資産合計	1,809,769	1,726,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,600,903	6,422,291
機械装置及び運搬具（純額）	129,098	121,607
土地	5,155,314	5,857,607
建設仮勘定	-	9,603
その他（純額）	208,279	197,221
有形固定資産合計	12,093,596	12,608,330
無形固定資産		
借地権	72,372	72,372
その他	37,228	37,390
無形固定資産合計	109,601	109,763
投資その他の資産		
投資有価証券	1,311,652	1,185,779
差入保証金	444,289	445,655
会員権	9,978	9,978
退職給付に係る資産	27,962	32,408
繰延税金資産	22,577	22,435
その他	176,360	128,708
投資その他の資産合計	1,992,821	1,824,966
固定資産合計	14,196,018	14,543,060
資産合計	16,005,788	16,269,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	173,543	89,202
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	559,376	559,376
未払金	14,501	5,323
未払費用	105,786	96,857
未払法人税等	123,609	144,573
未払消費税等	128,683	54,932
前受金	157,094	152,004
その他	15,860	15,351
流動負債合計	1,378,456	1,217,620
固定負債		
長期借入金	3,811,869	4,200,281
繰延税金負債	551,136	512,593
役員退職慰労引当金	106,981	115,901
長期預り保証金	561,786	557,121
その他	23,517	23,517
固定負債合計	5,055,290	5,409,415
負債合計	6,433,746	6,627,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,527,600	2,527,600
資本剰余金	2,046,936	2,046,936
利益剰余金	5,903,146	6,061,031
自己株式	△1,165,538	△1,165,538
株主資本合計	9,312,143	9,470,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235,399	148,068
その他の包括利益累計額合計	235,399	148,068
非支配株主持分	24,498	24,746
純資産合計	9,572,042	9,642,844
負債純資産合計	16,005,788	16,269,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	2,540,621	2,442,767
売上原価	1,878,719	1,761,622
売上総利益	661,902	681,144
販売費及び一般管理費	295,698	286,511
営業利益	366,203	394,633
営業外収益		
受取利息	505	429
受取配当金	3,423	3,764
保険解約返戻金	4,164	-
その他	4,169	1,511
営業外収益合計	12,262	5,705
営業外費用		
支払利息	15,939	16,285
支払手数料	-	2,707
営業外費用合計	15,939	18,992
経常利益	362,526	381,345
特別利益		
有形固定資産売却益	-	77
特別利益合計	-	77
特別損失		
有形固定資産除却損	431	0
特別損失合計	431	0
税金等調整前四半期純利益	362,094	381,423
法人税等	118,362	127,942
四半期純利益	243,732	253,481
非支配株主に帰属する四半期純利益	271	247
親会社株主に帰属する四半期純利益	243,461	253,233

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	243,732	253,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113,120	△87,330
その他の包括利益合計	△113,120	△87,330
四半期包括利益	130,612	166,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,341	165,902
非支配株主に係る四半期包括利益	271	247

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	362,094	381,423
減価償却費	231,898	224,130
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,272	-
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△3,071	△4,446
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△41,212	8,920
受取利息及び受取配当金	△3,928	△4,193
支払利息	15,939	16,285
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△77
有形固定資産除却損	431	0
売上債権の増減額 (△は増加)	12,802	31,045
その他の資産の増減額 (△は増加)	301,712	△2,016
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,858	△84,341
未払消費税等の増減額 (△は減少)	58,395	△73,750
その他の負債の増減額 (△は減少)	△56,955	△23,069
小計	846,975	469,909
利息及び配当金の受取額	3,928	4,193
利息の支払額	△15,917	△16,186
法人税等の支払額	△111,406	△105,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	723,580	352,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,154	△738,830
有形固定資産の売却による収入	-	77
無形固定資産の取得による支出	△2,660	△6,658
貸付金の回収による収入	697	-
差入保証金の差入による支出	△1,969	△4,332
差入保証金の回収による収入	27,778	2,966
長期前払費用の取得による支出	△5,037	△310
その他の支出	△50,264	△14
その他の収入	6,311	50,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,299	△697,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	665,000
長期借入金の返済による支出	△276,588	△276,588
自己株式の取得による支出	△7	-
配当金の支払額	△94,072	△95,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370,667	292,856
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	266,613	△51,460
現金及び現金同等物の期首残高	830,298	1,305,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,096,911	1,254,489

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,229,735	310,886	2,540,621	—	2,540,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,229,735	310,886	2,540,621	—	2,540,621
セグメント利益	435,920	152,432	588,353	△222,149	366,203

(注) 1. セグメント利益の調整額△222,149千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,133,331	309,435	2,442,767	—	2,442,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,133,331	309,435	2,442,767	—	2,442,767
セグメント利益	456,124	147,194	603,318	△208,685	394,633

(注) 1. セグメント利益の調整額△208,685千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。